

大阪医科大学学報

法人

評議員選任

| | | |
|----|------|------|
| 再任 | 田中忠彌 | 6.1 |
| 〃 | 岩子良一 | 〃 |
| 〃 | 細川修治 | 6.16 |

規程改正

・看護専門学校学則中一部改正について

第24条別表2中「60,000円」を「80,000円」に改める。

施行日 平成4年7月10日より

人事

採用

| | | |
|------|-----------------|------|
| 看護婦 | 久保美佐江 (病院看護部) | 5.16 |
| 〃 | 西村 尚子 (〃) | 〃 |
| 助手 | 南 理代 (口腔外科学) | 6.1 |
| 講師 | 宇野 功 (耳鼻咽喉科学) | 6.16 |
| 助手 | 宇田るみ子 (麻酔科学) | 〃 |
| 〃 | 原 均 (病院) | 〃 |
| 技術員 | 松村 聡美 (病院輸血室) | 〃 |
| 用務員 | 多富 朝子 (病院中央検査部) | 〃 |
| 准看護婦 | 石原 律子 (病院看護部) | 〃 |

| | | |
|------|---------------|-----|
| 助手 | 山本 典子 (解剖学 I) | 7.1 |
| 〃 | 石井 誠志 (医化学) | 〃 |
| 〃 | 長谷川滋人 (胸部外科学) | 〃 |
| 〃 | 永田 裕人 (整形外科学) | 〃 |
| 〃 | 野井 理 (耳鼻咽喉科学) | 〃 |
| 〃 | 芦名 謙介 (放射線医学) | 〃 |
| 〃 | 平石久美子 (〃) | 〃 |
| 〃 | 熊谷 広治 (産婦人科学) | 〃 |
| 〃 | 坪倉 省吾 (〃) | 〃 |
| 〃 | 堀本 仁士 (I C U) | 〃 |
| 看護助手 | 佐野三佐子 (病院看護部) | 〃 |

昇格・異動

| | | |
|----------------|----------------------|------|
| 医化学師 | 吉原 良浩 (助手) | 6.16 |
| 一般・消化器外科 助手 | 梁 壽男 (病院助手) | 〃 |
| 〃 | 一ノ名 正 (I C U 助 手) | 〃 |
| I C U 助 手 | 長田 啓嗣 (一般・消化器外科 助 手) | 〃 |

◆目

| | |
|---------------------------------------|-----|
| 法人 | 1 |
| 規程改正 | 1 |
| 人事 [採用・昇格・異動・休職・復職 [委嘱・解嘱・退職・海外渡航] | 1~4 |
| 平成4年度臨床研修医 | 4 |

◆次

| | |
|------------------------------|-----|
| 平成4年度永年(20年)勤続者表彰 | 4 |
| 平成4年度科学研究費補助金交付一覧 | 5~6 |
| 平成3年度・収支決算 | 7 |
| 週刊文春の記事に関連した問題に ついての理事会見解 | 8~9 |

休職・復職

休職を命ずる

助手 渡邊 博且 (衛生学・公衆衛生学) 7. 1

講師 浜田 勝生 (泌尿器科学) 7.11

委嘱・解嘱

治験審査委員会副委員長を委嘱する

教授 安原 稔 (皮膚科学) 6.10

中央研究室常任運営委員会委員の委嘱を解く

講師 渡邊 房男 (化学) 6.30

同上委員会委員を委嘱する

助教授 伊東 重徳 (化学) 7. 1

学内講師を委嘱する

助手 浅田 修二 (内科学Ⅱ) 7. 1

“ 多田 秀樹 (“) “

退職

用務員 藤岡勢津子 (病院中央検査部) 5.29

助手 井上 直己 (解剖学Ⅰ) 5.31

看護補助員 堀江 孝雄 (病院看護部) “

助手 吉岡 卓治 (一般・消化器外科学) 6.15

学内講師 井村 俊郎 (微生物学) 6.30

助手 長野 文昭 (生理学Ⅱ) “

“ 進藤 博章 (内科学Ⅱ) “

“ 大坂 直文 (“) “

“ 小高 正裕 (内科学Ⅲ) “

“ 孫 漢洛 (神経精神医学) “

“ 春成 英之 (胸部外科学) “

“ 福瀬 信也 (耳鼻咽喉科学) “

“ 西垣 洋 (放射線医学) “

“ 田中 康敬 (“) “

“ 猪木 千春 (産婦人科学) “

“ 高原 得栄 (“) “

助手 酒井 英子 (I C U) 6.30

看護婦 福島 照美 (病院看護部) “

“ 北村 芳子 (“) “

“ 松葉 明美 (“) “

“ 山内 恵子 (“) “

“ 渡邊 幸子 (“) “

“ 朝日由岐子 (“) “

“ 志風小百合 (“) “

“ 河本 理絵 (“) “

“ 阪下 敬子 (“) “

“ 坂本 ゆり (“) “

“ 玉置 昌子 (“) “

“ 武藤美智子 (“) “

“ 森本 敬子 (“) “

“ 辻井 元乃 (“) “

准看護婦 牧 幸子 (“) “

保母 高桑 清美 (“) “

海外渡航

留学

渡邊 博且 (衛生学・公衆衛生学助手)

アメリカ (ハーバード大学)

3. 8. 15 ~ 5. 6. 30 (1年延長)

出張

久保川 学 (生理学Ⅱ助手)

韓国 (ソウル) 5.17 ~ 5.21

東 郁郎 (眼科学教授) 5.20 ~ 5.28

中島 正之 (“ 講師) 5.18 ~ 5.30

オランダ (アムステルダム)

猪木 千春 (産婦人科助手)

佐伯 理男 (“ “)

韓国 (ソウル) 5.19 ~ 5.25

杉本 修 (産婦人科学教授) 5.21 ~ 5.25
奥田喜代司 (" 講師) 5.19 ~ 5.25
韓国 (ソウル)

兵頭 正義 (麻醉科学教授)
韓国 (金州) 5.22 ~ 5.25

阿部 宗昭 (整形外科学助教授)
フランス (パリ) 5.23 ~ 6. 2

西村 忠史 (小児科学助教授)
ギリシャ (アテネ) 5.25 ~ 6. 5

吉原 良浩 (医化学講師)
アメリカ (ニューヨーク) 5.26 ~ 6. 6

田窪 孝行 (病態検査学講師)
韓国 (済州島) 5.27 ~ 5.30

杉本 修 (産婦人科学教授)
奥田喜代司 (" 講師)
ベルギー (ブリュッセル) 5.27 ~ 6. 4

小野村敏信 (整形外科学教授)
中国 (北京) 6. 1 ~ 6. 6

畠山 和幸 (医化学助手)
韓国 (ソウル) 6. 7 ~ 6.10

陰山 克 (内科学II助教授)
アメリカ (ヒューストン) 6. 7 ~ 6.14

楢林 勇 (放射線医学教授) 6. 7 ~ 6.14
辰 吉光 (" 助手) 6. 8 ~ 6.14
アメリカ (ロサンゼルス)

宮崎 瑞夫 (薬理学教授)
奥西 秀樹 (" 助教授)
ドイツ他 (マインツ他) 6. 9 ~ 6.26

美濃 眞 (小児科学教授)
イタリア他 (トリノ他) 6.12 ~ 6.26

黒田 健治 (神経精神医学講師)
スウェーデン (ストックホルム)
6.13 ~ 6.22

三木 正之 (小児科学助手)
イタリア (トリノ) 6.13 ~ 6.24

溝井 泰彦 (法医学教授)
フランス他 (ボルドー他) 6.13 ~ 6.28

小野村敏信 (整形外科学教授) 6.14 ~ 6.24
瀬本 喜啓 (" 助手) 6.14 ~ 6.25
澤田 出 (" ") 6.15 ~ 6.30
フランス (リヨン)

三牧 孝至 (小児科学講師)
アメリカ (クリーブランド他)
6.15 ~ 6.28

森田 真照 (一般・消化器外科学講師)
フランス (ボルドー) 6.16 ~ 6.26

堺 俊明 (神経精神医学教授)
米田 博 (" 助教授)
上田ゆかり (" 助手)
野々村安啓 (" ")
フランス (ニース) 6.22 ~ 7. 4

植野 洋志 (医化学助教授)
ロシア (セント・ペテルスブルグ)
6.22 ~ 6.29
アメリカ (ウッズホール) 6.30 ~ 8.27

田嶋 定夫 (形成外科学教授)

スペイン (マドリッド) 6.27 ~ 7. 5

中張 隆司 (生理学 I 講師)

イギリス (マンチェスター) 7. 8 ~ 7.20

米田 博 (神経精神医学助教授)

岡村 武彦 (" 助手)

石田 徹 (" ")

カナダ (バンクーバー) 7.12 ~ 7.23

平成 4 年度臨床研修医 (91名)

第一内科15・第二内科12

第三内科7・精神・神経科6

小児科5・一般・消化器外科3

胸部外科5・脳神経外科3

麻酔科2・整形外科7

皮膚科2・泌尿器科1

眼科6・耳鼻咽喉科7

放射線科2・産婦人科3

歯科・口腔外科4・形成外科1

平成 4 年度永年 (20年) 勤続者表彰 6. 1

事務員 堤 佐智代 (病院薬剤部
薬剤課)

技術主任 坂本 洋子 (病院中央検査部)

主任 岸田 愛子 (病院看護部)

助手 渡辺 美鈴 (衛生学・
公衆衛生学)

技術補助員 徳地 紀之 (病院中央検査部)

技師長 内藤 継也 (中央研究室)

課長補佐 植田 正実 (病院事務部
施設課)

主任 川野 栄子 (病院看護部)

教授 島原 政司 (口腔外科学)

事務員 横井 妙子 (病院事務部
医事課)

技術主任 桑村 賀子 (病院薬剤部
製剤薬品情報課)

助教授 渡辺 正仁 (解剖学 II)

" 清金 公裕 (皮膚科学)

技師長補佐 菊地 常昭 (病院中央検査部)

技術主任 橋本 宮男 (病院放射線科)

主任 出坂 秀雄 (総務部庶務課)

" 小坂千代子 (病院看護部)

事務員 山口みゆき (病院中央検査部)

平成4年度 科学研究費補助金交付決定一覧

(単位千円)

| 研究種目 | 研究課題 | 所属・職名 | 氏名 | 交付決定額 |
|--------|---|----------------------|-------|-------|
| 国際学術 | アジアにおける蒙古系民族の分散と先史文化交流に関する日ソ共同研究 | 学 長 | 松本 秀雄 | 3,000 |
| 総合 (A) | 国際疾病分類からみた日本の死因調査の現状と問題点に関する研究 | 法 医 学 授 法 教 | 溝井 泰彦 | 2,000 |
| 一般 (B) | 腎尿細管細胞内シグナル伝達機構の研究 | 第 2 生 理 学 授 第 教 | 藤本 守 | 1,800 |
| 〃 | 拡張型心筋症のウイルス病因にかんする研究 — DNA および RNA 診断法を用いて — | 第 3 内 科 学 師 第 講 | 北浦 泰 | 400 |
| 〃 | アミノ基転移酵素の基質認識と活性発現機構の理解をめざして | 医 化 学 授 医 教 | 鏡山 博行 | 4,800 |
| 一般 (C) | 単離胃粘液細胞培養系を用いた胃粘膜防御機構に関する基礎的検討 | 内 科 学 II 手 内 助 | 島本 史夫 | 800 |
| 〃 | 小児期の各種病態と活性酸素の係わりについて — 特に新生児仮死とホモシスチン尿症において — | 小 児 科 学 手 小 助 | 荻原 享 | 200 |
| 〃 | 子宮頸癌細胞の浸潤・増殖能に関する基礎的研究 | 産 婦 人 科 学 授 産 助 教 | 植木 実 | 300 |
| 〃 | C9 の活性発現機構と C9 阻害蛋白 (MACIF) の阻害機構についての研究 | 病 態 検 査 学 手 病 助 | 畑中 道代 | 400 |
| 〃 | T ₃ 優位型バセドウ病の成因の研究および治療法の開発 | 内 科 学 I 師 内 講 | 高松 順太 | 600 |
| 〃 | 抗精子、抗ウイルス、抗寄生虫活性をもつゴシポールの作用機構の解明 | 医 化 学 授 医 助 教 | 植野 洋志 | 1,000 |
| 〃 | 精巣間細胞の前駆/幹細胞の同定 | 病 理 学 II 授 病 教 | 森 浩志 | 1,500 |
| 〃 | HIV のエンベロープ構造と機能 | 微 生 物 学 師 微 講 | 後藤 俊幸 | 1,400 |
| 〃 | 補体第4成分 (C4)、凝固第13因子遺伝子領域の塩基置換の解析 | 法 医 学 授 法 助 教 | 鈴木 廣一 | 1,100 |
| 〃 | 安静時並びに運動負荷時における SPECT による換気・血流不均等分布に関する研究 | 放 射 線 医 学 授 放 教 | 檜林 勇 | 1,200 |
| 〃 | Bifocal Lengthening に関する実験的研究 | 整 形 外 科 学 授 整 助 教 | 阿部 宗昭 | 1,900 |
| 〃 | 脚延長術における骨格筋の伸長に関する実験的研究 | 整 形 外 科 学 師 整 講 | 森下 忍 | 600 |

| 研究種目 | 研究課題 | 所属・氏名 | 氏名 | 交付決定額 |
|-----------------|--|---------------------|-------|--------|
| 一般 (C) 萌芽的研究 | レチノイド、 β -カロチンの新生児期における栄養評価とその臨床応用 | 周産期センター 講 | 岡本 良三 | 1,200 |
| 奨励 (A) | オナガザル上科における四肢骨関節形状の3次元的機能形態研究 | 解剖学 I手 助 | 中務 真人 | 900 |
| 〃 | 神経系発達に関与する新規細胞認識分子の探索とその性状及び機能解析 | 生化学 領域 手 助 | 吉原 良浩 | 1,200 |
| 〃 | ヒトの6-ピルボイルテトラヒドロプテリン合成酵素欠損症の遺伝子解析 | 医化学 学 手 助 | 畠山 和幸 | 1,200 |
| 〃 | 平滑筋腫瘍の悪性度判定における核分裂像の頻度と癌遺伝子変化の意義 | 病理学 II 手 助 | 伊藤 裕啓 | 900 |
| 〃 | 精子発生過程初期に発現する核蛋白質遺伝子のクローニング | 病理学 II 手 助 | 澤田 健 | 900 |
| 〃 | ヘリカル CT を用いた三次元立体表示に関する実験的並びに臨床的研究 | 放射線医学 講 師 | 清水 雅史 | 900 |
| 〃 | 交代制勤務者の健康に関する睡眠および生体リズムの関係 | 神経精神医学 講 師 | 黒田 健治 | 800 |
| 〃 | Craniosynostosis (狭頭症) の病因及び骨成長に対する実験的研究 | 形成外科学 手 助 | 今井 啓介 | 700 |
| 〃 | 胃癌の発育進展と間質結合織に関する研究 | 一般・消化器外科学 手 助 | 網岡 勝見 | 900 |
| 〃 | 超高压灌流下における ERG 波形応答について | 眼科学 手 助 | 兜坂 法文 | 900 |
| 〃 | エンドセリンが視機能におよぼす影響について | 眼科学 手 助 | 奥 英弘 | 900 |
| 〃 | 甲状腺ホルモン代謝における5'-脱ヨード反応とPDIとの関連について | 内科学 I 手 助 | 坂根 貞樹 | 800 |
| 〃 | アスパラギン酸トランスアミナーゼの活性中心設計原理の解明 | 医化学 学 手 助 | 矢野 貴人 | 900 |
| 〃 | 芳香族アミノ酸デカルボキシラーゼの構造と機能の解析 | 医化学 講 師 | 林 秀行 | 900 |
| 〃 | 大腸菌芳香族アミノ酸アミノ基転移酵素の基質認識機構 | 医化学 学 手 助 | 井上 桂 | 900 |
| 奨励 (A) 萌芽的研究 | 化学予防剤のヒト舌癌由来細胞株への影響に関する研究 | 耳鼻咽喉科学 手 助 | 坂 哲郎 | 400 |
| 合計 | 34 件 | | | 38,300 |

平成3年度・収支決算

資金収支決算

(単位：千円)

| 収 入 の 部 | | | | 支 出 の 部 | | | |
|------------|--------------|--------------|-----------|-----------|--------------|--------------|-----------|
| 科 目 | 平成3年度 決算額 | 平成3年度 予算額 | 増・減(△) | 科 目 | 平成3年度 決算額 | 平成3年度 予算額 | 増・減(△) |
| 学生生徒等納付金収入 | 2,412,567 | 2,408,073 | 4,494 | 人件費支出 | 9,595,881 | 9,544,924 | 50,957 |
| 手数料収入 | 69,356 | 63,396 | 5,960 | 教育研究経費支出 | 9,414,267 | 8,745,604 | 668,663 |
| 医療収入 | 16,801,411 | 16,059,420 | 741,991 | 管理経費支出 | 700,774 | 699,505 | 1,269 |
| 寄付金収入 | 156,174 | 100,000 | 56,174 | 借入金等利息支出 | 235,519 | 238,803 | △ 3,284 |
| 補助金収入 | 2,014,382 | 1,593,265 | 421,117 | 借入金等返済支出 | 1,326,823 | 1,322,823 | 4,000 |
| 資産運用収入 | 772,173 | 700,778 | 71,395 | 施設関係支出 | 122,858 | 124,790 | △ 1,932 |
| 資産売却収入 | 2,256 | 2,256 | 0 | 設備関係支出 | 891,941 | 903,985 | △ 12,044 |
| 事業収入 | 108,272 | 103,000 | 5,272 | 資産運用支出 | 964,866 | 666,290 | 298,576 |
| 雑収入 | 284,241 | 160,375 | 123,866 | その他の支出 | 2,595,303 | 2,420,624 | 174,679 |
| 借入金等収入 | 989,600 | 989,600 | 0 | 予備費 | — | 300,000 | △ 300,000 |
| 前受金収入 | 1,287,280 | 1,308,893 | △ 21,613 | 資金支出調整勘定 | △ 2,417,464 | △ 2,097,768 | △ 319,696 |
| その他収入 | 3,065,132 | 2,886,792 | 178,340 | 次年度繰越支払資金 | 5,721,159 | 4,912,784 | 808,375 |
| 資金収入調整勘定 | △ 4,247,183 | △ 4,123,950 | △ 123,233 | | | | |
| 前年度繰越支払資金 | 5,436,266 | 5,530,466 | △ 94,200 | | | | |
| 収入の部合計 | 29,151,927 | 27,782,364 | 1,369,563 | 支出の部合計 | 29,151,927 | 27,782,364 | 1,369,563 |

消費収支決算

(単位：千円)

| 消 費 収 入 の 部 | | | | 消 費 支 出 の 部 | | | |
|-------------|--------------|--------------|-----------|-------------|--------------|--------------|-----------|
| 科 目 | 平成3年度 決算額 | 平成3年度 予算額 | 増・減(△) | 科 目 | 平成3年度 決算額 | 平成3年度 予算額 | 増・減(△) |
| 学生生徒等納付金 | 2,412,567 | 2,408,073 | 4,494 | 人件費 | 9,906,188 | 9,879,463 | 26,725 |
| 手数料 | 69,356 | 63,396 | 5,960 | 教育研究経費 | 10,509,126 | 9,859,468 | 649,658 |
| 医療収入 | 16,801,411 | 16,059,420 | 741,991 | 管理経費 | 751,274 | 749,872 | 1,402 |
| 寄付金 | 186,764 | 145,400 | 41,364 | 借入金等利息 | 235,519 | 238,803 | △ 3,284 |
| 補助金 | 2,014,382 | 1,593,265 | 421,117 | 資産処分差額 | 37,872 | 15,850 | 22,022 |
| 資産運用収入 | 772,173 | 700,778 | 71,395 | 徴収不能額 | 5,013 | 3,850 | 1,163 |
| 事業収入 | 108,272 | 103,000 | 5,272 | 予備費 | — | 300,000 | △ 300,000 |
| 雑収入 | 284,241 | 160,375 | 123,866 | 消費支出の部合計 | 21,444,992 | 21,047,306 | 397,686 |
| 帰属収入合計 | 22,649,166 | 21,233,707 | 1,415,459 | | | | |
| 基本金組入額合計 | △ 926,704 | △ 1,509,108 | 582,404 | 当年度消費収入超過額 | 277,470 | — | |
| 消費収入の部合計 | 21,722,462 | 19,724,599 | 1,997,863 | 当年度消費支出超過額 | — | 1,322,707 | |

注：資金収支・消費収支両決算に共通する科目で決算額に差異のある科目については下記の理由による。

1. 「寄付金」には、資金収支決算上の寄付金のほかに、消費収支決算では現物寄付金が計上されている。
2. 「人件費」には、支払給与のほかに、資金収支決算では退職金支出額が計上されるのに対し、消費収支決算では退職給与引当金繰入額が計上されている。
3. 「教育研究経費」「管理経費」には、資金収支決算上の支払経費のほかに、消費収支決算ではそれぞれに減価償却額が計上されている。

『週刊文春の記事に関連した問題についての理事会見解』

理事長

5月14日（5月21日号）発刊の週刊文春に本学に関する記事が「前代未聞 学長の内部告発」「早く司直の手にゆだねたい」というタイトルで掲載された。しかし、その内容は大部分が伝聞・推測によるものであり、学長の言動に発しているものとは到底考えられなかったため、静観することとした。ところが、5月22日になって、日刊各紙の朝刊に学長の記者会見の記事が掲載され、同日夕方には、学長の「教職員並びに学生諸君へ」という檄文が学内に配布された。その内容は「自分が調べたところ、週刊文春の報じている事はおおむね間違っていない」というものであった。そこで、その実態を把握しなければこの問題に理事会としての確かな判断を下すことが出来ないため、急拠5月27日に臨時理事会を開催し、5回に亘って審議を重ねた。その間、監事による慎重・公平を旨とした調査が進められ、その中間意見書を理事会として審議した結果、一部を除いてほぼ全容が明らかになったのでその概要をお知らせする。

(1) 紹介料・リベートの受領・源泉徴収の名義借・腎透析設備の制限について

イ. 紹介料・リベートの受領について

現段階における調査では結論として紹介料・リベートの受領は一切無かったものと認めざるを得ない。

ロ. 前医局長の源泉徴収の名義借りについて

年末・年始の2日間の報酬20万円は、有沢病院における浜田医師の実働に対するもので、源泉徴収税額14,800円を差し引いた手取り額185,200円が支払われたが、その際無断で他の医局員2名の名義を借用している。これは少額ではあるが、一部の所得税のがれとすることができる。

ハ. 本学腎透析設備の制限について

現在11床が設備されていて、これ以上増床の余地は全くない。『20床は設備できるのに、故意に10床しか置かない』というのは、いわれなき中傷と判断せざるを得ない。

ニ. 以上、「紹介料・リベートの受領及び腎透析設備の制限」に関する報道は虚偽であると認めざるを得ず、本学の名誉を毀損していることは明らかである。

なお、4月上旬に医局員16名ないし17名が提出したという文書は、本出来事の発端となる重要な資料であるが、学長がその文書を開示することを頑強に拒否しているため、事実を確定することが出来ない。

(2) 泌尿器科学教室の医局会計について

前医局長が提出した決算報告書4通の「医局会計報告書」を調査した結果、不正の点は見受けられなかった。

(3) 退職理事の退職金に対する功績創作について

イ. 「功績のあった常任理事を勝手に解任した」というのは、勝手に解任したのではなく、本学法人寄附行為の規程上理事の任期満了で退任となったものである。

ロ. 「退職理事の退職金に対する功績の創作」というのは、全役員が決裁印を押しており、功績を創作した事実は全くない。

しかも、これらは泌尿器科学教室とは全く関係のないことである。前理事長の退職金に対する功績加算の議案に対し、了承の決裁印を押しながら、全役員に対する背任罪の成立を容認するような虚偽の事実を週刊誌の記者に話した行為は、全役員の商品と役員会の名誉を毀損した不見識な行為と言わなければならない。

大阪医科大学学報 第13号
発行年月日 平成4年7月15日
発行 学校法人 大阪医科大学
発行責任者 事務局長 松村 實
編集・発行 総務部 庶務課